

年末から年始にかけての行事

【冬至にゆず湯】

令和7年12月22日(月)は、一年で最も夜が長い冬至でした。冬至と言えば『ゆず湯・かぼちゃ』というワードが浮かびます。虹の園でも、ご利用者の皆様に、ゆず湯を用意し、香り高いお風呂を楽しんでいただきました。入浴後には、「とっても温まったよ。」「いい湯だったよ。」など、ゆず湯を堪能したご利用者さんのご満悦なお言葉をいただきました。



【もちつき大会開催】

12月26日(金)には、『もちつき大会』が開催され、職員の威勢の良い掛け声と、力強く杵を餅に叩きつける音が施設内に響きました。餅つきを参観していたご利用者の皆様にとっては、大多数の方が、各ご家庭で年中行事として行っていたことであり、見ているだけで昔のことを思い出していたのではないかと存じます。お話をお伺いすると、ご利用者さんが子供の頃は、「正月以



後、当時の尋常小学校のお弁当は、毎日朝焼いたお餅だった。」とおっしゃっている方もいました。当時の頃を思い、みなさん餅つきを楽しそうに見学していました。

ご利用者の皆様も、餅つきの体験を行い、昔を懐かしんで杵を力強く振り下ろし、餅をついていました。数回の餅つきでしたが、どこことなく笑顔がほとばしり、やっぱり昔やっていたことは懐かしく、嬉しいのだと思いました。ついたお餅は、施設内にお正月用の鏡餅として飾られました。



